

私の留学体験記

広島県立御調高等学校 3年 網干 空 (あぼし そら)

留学期間 令和5年3月10日～3月23日 (14日間)

留学先 新北市立明德高級中學 (新北市、台湾)

今回の留学で、とても多くの事を学ぶことができ、とても良い経験になりました。台湾に着いた最初の頃は言葉が通じなくて苦戦したこともありましたが、一緒に授業を受ける中で、クラスの人が翻訳機や英語の簡単な単語を使ってくれたおかげで、たくさんコミュニケーションが取れました。

授業の数は日本に比べるととても多かったです。朝は7時半から朝自習が始まり、1時間目から午後は8時間目まで授業があることに驚きました。その上に、進学クラスの生徒は20時50分まで自習があります。

台湾の学生は挙手をして発表し、どの授業にも前向きな姿勢でした。最も印象に残ったのは、英語の授業です。アメリカの先生が授業に来てくれました。先生が英語で質問をしたことに対して台湾の生徒は自分の意見を一所懸命に伝えようと努力していました。日本だと、外国人の先生に聞かれても、積極的に発表したがる生徒は少ないと感じます。その前向きな様子に驚きました。もう一つは体育の授業です。日本では種目を先生が決めたら、最初の運動や基礎練習など、活動の順番を先生が決めて行うのですが、台湾では違います。種目は先生が決めるのですが、活動の順番は生徒が自分で決めます。私はバレーボールの授業を受けましたが、誰かが「試合をしよう」と言ったら、すぐに試合が始まりました。しかも、男子と女子が混ざって自由にプレーしていました。それを見て自分もすぐに参加し楽しくゲームができました。日本と違って、先生が指示をしなくても自分たちで行動できることが素晴らしいと思いました。このように、色々な場面で台湾の生徒の積極的な姿を見ました。

部活動はボクシング・柔道・アーチェリー・レスリング・バレーボールに参加させてもらいました。どの部活動も台湾のトップクラスの選手がいたり、オリンピック選手がコーチにいたりして、スポーツもとても盛んな学校でした。

この留学で私が学んだ事は、言われたことをするだけではなく、自分で考えて行動することが大切だということです。この先の人生でも、この経験を生かして積極的に行動しようと思います。

